

令和4年度事業計画（案）について（協議会事業）

総額：12,660千円（令和3年度繰越を含む）

令和4年度予算：9,570千円

文化庁補助事業（65%補助）【申請額：2,000千円】（うち文化庁補助金：1,300千円）

○滞在コンテンツ整備事業（新規）【要望額：2,000千円】

- ・ 駅を起点としたガイド付きバスツアーの造成、ツアーガイドを対象とした講習会

観光庁補助事業（100%補助）【申請額：7,000千円】（うち観光庁補助金：6,000千円）

○新・炭鉄港めしの開発及び炭鉄港めしイベントの開催（新規）【要望額：7,000千円】

- ・ 新・炭鉄港めしの開発
- ・ 新・炭鉄港めしを含むパンフレットの作成
- ・ イベントへの出店
- ・ 炭鉄港めしスタンプラリーの実施

協議会事業【570千円】

○炭鉄港カードキャンペーン事業（継続）【事業費：70千円※協議会単費】

- ・ 第2弾炭鉄港カード配布に伴うキャンペーン実施

○他の世界遺産・日本遺産との連携（新規）【事業費：500千円※協議会単費】

- ・ 日本遺産サミットへの参加など

令和3年度明許予算：3,090千円

文化庁補助事業（100%補助）【繰越額：3,090千円】（うち文化庁補助金：3,090千円）

○ツアー・コンテンツ造成事業【事業費：1,995千円】

- ・ 鹿児島からのモニターツアー（教育関係者招致）

○他の日本遺産との連携【事業費：1,095千円】

- ・ 兵庫県朝来市（日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」）での炭鉄港PR

令和4年度協議会事業案（個表）

令和4年度予算

国補助金活用（文化庁／65%）

事業名	滞在コンテンツ整備（駅を起点としたガイド付きバスツアーの造成、ツアーガイドを対象とした講習会）
要望額（案）	2,000千円（うち文化庁補助金申請額：1,300千円）
<p>【目的】</p> <p>駅を起点としたバスツアーを実施し、二次交通による周遊ルートを構築するとともに、地域を包括的にガイドできる人材の育成を図る</p> <p>【事業内容】</p> <p>JR北海道との連携により、観光列車等と連携したガイド付きバスツアーの造成及び、現地ガイドを対象とした講習会を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幌内線140年を記念し、JR北海道と連携したバスツアーの実施 ① 観光列車乗客に対する炭鉄港のPR ② 訪問地の満足度など、参加者へのアンケート等実施 ② 駅を起点とした周遊コースの作成、HPで公開 ・ 上記現地ガイドを対象とした実地講習及び地域間ガイド交流（空知管内を予定）実施 <p>【12月総会からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭鉄港スタンプラリーを観光庁事業に組み替え 	

※補助金額内示後確定

国補助金活用（観光庁／100%）

事業名	看板商品創出事業（新炭鉄港めしの開発及び炭鉄港めしイベントの開催）
要望額（案）	7,000千円（うち観光庁補助金申請額：6,000千円）
<p>【目的】</p> <p>炭鉄港地域の特色ある食文化である「炭鉄港めし」を活用し、新たな食文化コンテンツを造成し、関連イベントを開催することにより周遊を促進する</p> <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 炭鉄港をイメージしたメニューの開発 ・ 歴史的な資料に基づいた「炭鉄港めし」に加え、既存のものも含め炭鉄港をイメージしたメニューのパンフレット作成 ・ 炭鉄港地域での催事への出店、炭鉄港スタンプラリーなどの「炭鉄港めし」イベントの開催 <p>【12月総会からの変更点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討中としていた観光庁補助事業に「炭鉄港めし」を活用した食文化コンテンツの造成を申請。 	

※補助金額内示後確定

協議会単独

事業名	炭鉄港カードキャンペーン事業
予算額（案）	70千円
<p>【目的】 令和4年5月以降に配布開始する第2弾炭鉄港カードについて、期間限定キャンペーン等を実施することにより周遊促進効果を高める</p> <p>【事業内容】 ・コンプリート者等を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催</p>	
<p>【12月総会からの変更点】 ・当選者数の変更及びチラシ印刷費の削減などにより、予算を減額</p>	

事業名	日本遺産相互連携事業
予算額（案）	500千円
<p>【目的】 関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る</p> <p>【事業内容】 ・相互の情報発信や、視察の実施 ・日本遺産サミットへの参加（旅費は参加を希望する市町で支出） ・エリア内小中学生の交流促進 ・連携対象の候補は、道内の日本遺産（エリアが共通する北前船等）や、テーマが共通する産業遺産（鎮守府や銀の馬車道等）</p>	
事業名	予備費
要望額（案）	130千円
<p>【12月総会からの変更点】 ・観光庁事業の負担分に充てるため、予備費を減額</p>	

令和3年度明許予算

国補助金活用（文化庁／100%）

事業名	ツアー・コンテンツ造成事業
要望額	1,995千円（うち文化庁補助金：1,995千円）※2,005千円支出済
<p>【目的】 商品化を意識したコンテンツ造成及びモニターツアーの催行により、R4年度以降の商品化に繋げる。</p> <p>【事業内容】 ・炭鉄港の端緒となった鹿児島から教育関係者を誘致し、教育旅行誘致に繋げる</p>	

事業名	日本遺産相互連携事業
要望額	1,095千円（うち文化庁補助金：1,095千円）
<p>【目的】 関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る。</p> <p>【事業内容】 ・兵庫県朝来市での情報発信や、パネル展等の実施</p>	